



Focus on !! タイ王国協定大学へ工学部教職員 9 名が表敬訪問

研究高度化・グローバル化特別対策室（通称：研グロ）では、海外大学との学術・学生間交流を活発化させるため、特に海外協定校への教職員派遣を実施しています。今回、タイの大学との更なる連携強化および留学生獲得のため、平成 27 年 9 月 21 日から 9 月 23 日までの日程で、バンコク市内の 4 大学を船崎工学部長を始めとする教職員 9 名が表敬訪問しましたのでご紹介します。（タイの 4 大学については、季刊報 Vol.4 で詳しく紹介しています）

★ タイ協定大学へ表敬訪問

1 日目午前は、本学の情報分野で交流のある、「タイの東大」と言われる**チュラロンコン大学**理学部を訪問し部局間協定更新のための調印式を行いました。学生対象の留学案内には約 40 名の学生が集まり本学への興味の高さが窺えました。理学部ということもあり、今後、化学、数学、物理、生物においても多様な交流が期待できそうです。

午後は、**キングモンクット工科大学ラドカバン校**理学部を訪問し、学生交流協定の調印式、研究室見学などを実施しました。今後の共同ワークショップ開催の可能性なども話し合われました。

2 日目は、**キングモンクット工科大学トンブリ校**を訪問しました。同校は、35 の英語による国際プログラムを持つとともに、留学生の受入（昨年度は 600 人の日本人留学生を受入）や送り出しに熱心な大学です。本学学生の短期受入の可能性など、国際交流に関し活発な話し合いがなされました。また、訪問した工学部では、本学の学内カンパニーに対する取り組みに特に興味が示されました。

最終日の 3 日目は、バンコク郊外に広大な敷地を持つ**タマサート大学**工学部を訪問しました。本学教員による研究紹介、留学案内では、各分野の学生 118 名の参加がありました。



チュラロンコン大学理学部長を表敬訪問。訪問先ではあたたかい歓迎を受けました。

キングモンクット工科大学ラドカバン校理学部長との調印式に臨んだ船崎工学部長（左）。



キングモンクット工科大学トンブリ校の国際交流部門を訪問し、学生交流について議論しました。

タマサート大学工学部での本学教員によるミニ講義の様子。100 名以上の学生が本学教員のミニ講義に耳を傾けました。講演後に留学について質問に来た学生もいました。



★同窓会&進学相談会を開催

全ての表敬訪問を終えた 3 日目の夕方、本学卒業生で、現在、岩手大学とタイの大学を結ぶ国際交流支援コーディネータを務めて下さっているパイリントラ先生を始めとする本学卒業生、留学希望者（約 25 名）、タイの大学の教職員を交えた同窓会および進学相談会を兼ねた情報交換会を開催しました。本学教員と留学希望者で活発な情報交換が行われ、タイ学生の留学意識の高さを直に感じられる機会となりました。

★表敬訪問を通して

タイの大学は日本との交流に強い意欲をもち、また学生も進学意欲が高いため、博士後期課程入学者の増加が期待できそうです。しかし一方で、本学工学研究科における英語プログラムの有無も重要視しているようです。そのため、今後、タイからの留学生を増やすには、本研究科における英語プログラムの整備が必須であることを痛感した表敬訪問となりました。



情報交換会には、平成 26 年 8 月と平成 27 年 8 月に日本・アジア青少年サイエンス交流事業の支援を受け本学へ招聘したタマサート大学学生 3 名（左端：Kullapat さん、中央：Tanasarn さん、右から二人目：Chanakitkarnchok さん）も参加しており、本学教職員と再会を果たしました（写真左）。



情報交換会には、本学工学部・工学研究科入学希望の多くのタイの学生が参加してくれました（写真右）。今後の本学との交流の発展が楽しみです。

★ 韓国・国立ハンバット大学校へ大学院生10名を派遣!!

昨年度に引き続き、国際的経験を通じた学識の向上・人材の育成を目的に、平成27年11月18日から11月22日までの日程で、韓国・ハンバット大学校へ工学研究科大学院生を派遣し、学生間交流研修を実施しました。平成27年8月に岩手大学で実施しましたハンバット大学校生との学生交流研修に参加した本学学生および招聘学生も多く参加し、密な国際交流となりました。

研グロ吉澤室長を含む引率教員3名とともに、韓国・ソウル経由でハンバット大学校がある大田（テジョン）へ移動し、ハンバット大学校生と学生間交流を行いました。研修2日目は、自身の研究成果について、岩手大学生10名、ハンバット大学校生12名による双方向での英語による口頭発表（7分/人）、ハンバットフェア（ものづくり展示会）でのポスター発表が行われました。また、吉澤室長による本学工学部の教育紹介、電気電子・情報システム工学科の秋山准教授によるパルス電力・プラズマ発生に関するミニ講義も行われました。

研修3日目は、午前に大学施設見学を行った後、ハンバット大学校生とともに、大田の南約60kmに位置する全州（チョンジュ）へ移動し、文化施設見学・文化体験を行いました。全州は朝鮮王朝発祥の地で、千年以上の歴史を持つ都市です。代表的な韓国料理であるビビンバ発祥の地としても知られています。帰国前日の研修4日目は、ソウルへ移動し、景福宮や光化門などの歴史的文化施設を見学しました。本学参加学生にとっては、学術面だけでなく、韓国の歴史や文化を知る貴重な国際研修となりました。

ハンバット大学校生とともに全州・慶基殿の前にて（写真右）。本学学生も4名ほど韓服を着てますね。他に、朝鮮時代にカトリック教徒が殉教した跡地に建てられた殿洞聖堂など、歴史ある建造物を見学しました。



「羽ばたきの振幅制御によるロールおよびヨーモーメント生成機構の開発」という題目で口頭発表中の、機械システム工学専攻・西村俊哉さん（写真左）。



発表ポスターを貼り終えたところでポーズをとってパチリ☆ 社会環境工学専攻・千田昌磨さん（写真左）と電気電子・情報システム工学専攻・石田健太郎さん（写真右）。



学生発表会終了後の懇親会にて（写真左）。発表会へ参加できなかった平成27年8月の招聘学生も何人か駆けつけ、本学学生と再会を果たしました。

現地ホストを務められましたハンバット大学校の李忠坤教授を始め、今回の派遣事業にご協力頂いた方々へ感謝申し上げます。

参加学生の声



Miss. S. Park (Chemical & Biological Engineering B4) : These were fun days that I would never forget. During Hanbat fair, I was able to make many new friends and met a lot of new people. I really want to meet them again.



Mr. S. Jung (Electronics & Control Engineering B3) : I was glad to meet Japanese friends for the first time in Hanbat Fair. I was happy to talk about my interests in Japan. Once again if given a chance, I would like to participate in such event.



Mr. H. Jeon (Chemical & Biological Engineering B4) : "Can I go again?" If I have a second chance, I would say like this. I have a fun time with my Japanese friends in Hanbat University and Iwate University.



佐々木康至 フロンティア材料機能工学専攻 M1 : 韓国は島国の日本と違って他国との距離が近いゆえに、外国人への接し方が日本人よりフランクであるなど、日本との国民性の違いを感じました。また、ハンバットフェアでの韓国学生による展示物の見学を通し、学術性より商業化を強く意識した研究姿勢を感じました。

安井岳 電気電子・情報システム工学専攻 M2 : 普段触れる情報のみで韓国という国を想像していましたが、今回、韓国学生と同じ趣味の話をしたり、韓国学生同士のふざけあうやり取りを見るなど、五感を使って多くの生の情報を得ることができました。今回の研修は、韓国の文化や視点を理解するための大きな一歩になりました。

佐藤司 社会環境工学専攻 M1 : 私は英語が得意ではないですが、英語が出来ることよりも、コミュニケーションをとろうとする意思と話しかける勇気が一番大切だと思いました。会話をもっとスムーズにしたいと思うと英語の勉強に対するモチベーションも上がり、自分の世界観も広がり、とても良い刺激を受けた5日間でした。

掲示板

★ 記念すべき第1回銀河セミナーを開催!!

研究高度化の施策の一つとして、若手教員の優れた研究の発掘を目的とした発表の場として、12月21日に第1回銀河セミナーを開催しました。今回は、工学部マテリアル工学科の内藤智之先生より「超伝導バルク磁石の開発」について、講演して頂きました。今年度中に第2回も予定していますので、是非、ご聴講下さい。

★ カタール大学より、オサマ原美先生を招聘します

平成22年に本学を転出された原美先生（バーチャルリアリティなどが専門）を招聘し、1月18日に第27回銀河レクチャーを開催します。カタールや自身の大学等について、たっぷりご講演頂きます。是非、ご聴講下さい。

編集後記

今回のタイへの大学訪問では、どの大学も日本や岩手大学に高い関心を寄せていることが肌で感じられ、留学を希望するタイの学生達や研究者の方々と顔を合わせてお話をできた貴重な機会となりました。この訪問をきっかけに、タイから本学への受入の話が進んだ方もいると聞き、大変嬉しく思います。今後もより一層、顔の見える交流を繋いでいきたいと思ひます。

編集局：

工学部研究高度化・グローバル化特別対策室
Email: kenguro@iwate-u.ac.jp
TEL: 019-621-6405